

12

殘務整理(一次官會議)

三月十四日 第一海員省

外地陸軍部隊ノ復員ハ關係各省ノ關係力ヲ得テ概ネ順調ニ進捗シアリテ  
 其ノ實行機關タル上陸地支局、地方世話部並ニ留守業務部亦漸ク其ノ殘  
 能ヲ發揮シ外地部隊留守宅、遺家族等ノ唯一ノ寄り邊トシテ感謝ヲ博シ  
 アル次第ニシテ生存者ニ對スル復員處理ハ順調ニ進捗シアリ  
 然ル所内地トノ音信不達ニ陥リタル以降ニ於ケル死歿者、生死不明者以  
 ニ未復員部隊所屬將兵ノ安否等ニ關シテハ内地ニ於テハ何等調査ノ手掛  
 リナキノミナラス外地部隊ノ處理大算業務及之等ノ戰闘行動ニ關スル止  
 難ナル點(一)マ(二)司令部受取(一)等ハ一ツニ外征部隊内地歸還ノ上復員  
 關係機關ト密接ナル連絡ヲ取リシテ自ラ處理ササルヘカラサル業務トナ

七九

レリ

而シテ目下豫想セララルル死歿者ノ總計ハ約六十萬人、生死不明者亦十數  
 萬ニ昇ル見込ニシテ之カ速カナル整理ニ遺家族及留守宅ニ對スル處理  
 ハ今後ニ於ケル全軍復員ノ為取セ重要ナル事項ナリ  
 而シテナカラ玉碎部隊ハ勿論「ニエー」方面、比島方面、「ビルマ」  
 方面等長期ニ互リ激烈ナル作戦ヲ遂行セル方面ニ於テハ隊長副官等責任  
 者ノ死歿ニ生存者ノ僅少等ニヨリ之カ調査ハ目下ノ處至難ヲ極メアリ  
 又朝鮮、北鮮、千島、樺太ニ於テハ終戦後ニ於ケル「ソ」聯ノ取扱ニヨ  
 リ部隊ハ之ヲ擾亂セラレ建國ハ破壞セラレ之カ復員ハ異常ナル困難ヲ招  
 來スルナト認メラル  
 之等ニ對シテハ今ニシテ速カニ施策ヲ發足スルニ非サレハ迅速適正ナル

復員實施不能ニ陥リ百萬ノ留守宅邸ニ貴家族ニ絶大ナル迷惑ヲ煩ハスコトトナリ復員省トシテハ重ニ申諱ナキ次第ナリ

今後復員省トシテハ各省ノ理解アル御協力ヲ得テ留守業務部竝ニ地方世話部業務遂行ノ基礎調査ヲ完成セシムル爲此等生死不明者竝ニ死歿者ノ責任アル調査及之等部隊ニ於ケル経理決算業務竝ニ「マ」司令部要求ノ歸還戦史資料ノ調査其他殘務業務處理ノ爲外地ヨリ歸還スル部隊中ヨリ適任者一府役ヨリ兵ニ至ル一ヲ指定シ之等ヲ各方面別毎ニ集合勤務セシメ此ノ複雜困難一證據書類一切焼失又ハ外地ヨリノ携行禁止ナル業務ヲ遂行セシメ度ク準備ヲ進メアリ

之等要員ハ眞ニ貴重ナル生存者ニシテ内地ハ勿論他方面在勤者ヲ以テ絶對ニ代ヘ難キ者ノミニシテ特ニ兵ノ大部ハ「マ」ラリヤ」竝ニ榮養失調者ニシテ体力ノ消耗甚ク日毎ノ發熱ヲ反覆シ或ハ一乃至二月間ノ靜養ヲ要スルニ拘ラス屈スルコトナク銳意戰友竝ニ其ノ部下將兵ノ爲淚グマシキ努力ヲ傾注シアリテ一例ヲ「ニューギニヤ」方面ヨリ歸還セル第十八軍ニ取レハ出征兵士約十一萬人中生存歸還セルモノハ約一萬人ニシテ殆ント全部ノ部隊ハ九十五%以上ノ損耗ヲ來セリ其ノ内ヨリ目下三百七十名選定シ殘務ヲ處理中ナルモ延ヘ其ノ三分ノ一ハ「マ」ラリヤ」發熱ノ爲就床シアリテ解熱ト共ニ再起シテ又職務シアル現況ナリ

近ク南方各地ヨリ此ノ種殘務整理委員多數ノ歸還ヲ豫期セラルルヲ以テ其ノ業務遂行ノ爲特ニ各省ノ御助力ヲ得度キ次第ナリ

而シテ此等殘務整理部隊ハ其ノ母隊ノ大小特ニ其ノ損傷毀滅ノ程度ニヨリ自ラ勤務年月ノ長短アルモ母隊復員開始時ヨリ業務ヲ開始シ母隊復員終了時ヨリ短キモ三乃至四ヶ月長キハ一ヶ年程度ヲ要スルモノト豫想セラル

殘務整理部隊ニ關スル處置案

一、方針

純復員業務中比較的長期ニ亙ルモノハ殘務整理業務トシ地方引揚援護局（上陸地支局）業務ヨリ判然ト區別シ其ノ管理ハ留守業務部並ニ各復員監部ニ擔任セシム

二、殘務整理擔任區分

主として玉碎部隊並ニ殘務整理至難ナル損傷部隊ハ留守業務部ニ直轄擔任セシメ比較的建制ヲ保チ歸還スル部隊ハ各復員監部ニ分擔セシム

其ノ擔任區分別紙第一ノ如シ

三、殘務整理ノ爲左ノ如ク事務廳舎ヲ準備ス

左記

(一) 廳舎ハ舊軍用兵舎等既設家屋ヲ優先的ニ取得シ所要ノ修理補修ヲ實施ス

(二) 補修ノ爲各關係復員監部ニ所及ノ豫算ヲ令達ス

(三) 建築用資材ハ各復員監部及留守業務部ヨリ速カニ申請セシメ檢討ノ上

優先配當ス

五、殘務整理部隊給養ニ就テ左ノ如クス

(一) 奉給手當等

復員省官署要員ト同等トス

(二) 給食

別紙第二ノ如クス

別紙第一

業務整理官理區分表

北部復員監部

在千歳及華本部隊

約

一五〇名、未歸還

東部復員監部

第八方面軍

第十八軍

第十四師團

第二軍

第三十七軍

ビルマ方面軍

約四〇〇名、業務ヲ開始シヤリ

内十八軍ハ八月末頃終了ス

約五六〇名、未歸還

中部復員監部

第十方面軍

約二六〇名、近ク業務ヲ開始スヘシ

中國復員監部

南方總軍（除ビルマ、三十七軍、二軍）

約五七〇名、未歸還

西部復員監部

第十七方面軍

約二一六〇名、約八百名業務ヲ開始シヤリ

支那派遣軍

留守業務部

第十四方面軍

約一一〇〇名、目下約百名業務ヲ開始シヤリ

第三十一及第三十二軍

在滿部隊（約一三〇〇名）ノ官理區分ハ歸還狀況ヲ見テ定ム

總人員計 約六五〇〇人